

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2012年度日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会の申し合わせ事項によって行う。

2 競技場の使用について

- (1) ウォームアップ場は第2陸上競技場を原則とする。ただし、砲丸投の練習については、投てき練習場のみとする。各練習場の練習は役員の指示によって行う。
- (2) 第2陸上競技場に棒高跳の練習ピットを用意するが、バーをかけない練習のみとする。ゴムバーの使用は可能。(ゴムバーは主催者側で準備する。)
- (3) 陸上競技場並びに第2陸上競技場は全天候舗装なので、スパイクの長さは9mm以内とする。但し、走高跳は12mm以内とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクの数は11本以内とする。スパイクの先端が鋭利なものを使用してはならない。
- (4) 更衣は、男女の更衣テントを準備する。貴重品は各自で管理すること。
- (5) 第2陸上競技場には各地域ブロック別の競技者待機所テントを主催者で設置する。
- (6) 救護本部は陸上競技場の医務室に設置する。他に第2陸上競技場にも救護所を設置する。

3 競技者の招集について

- (1) 招集所は陸上競技場第3ゲート外側テント内に設ける。
- (2) 招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

種目	予選・準決勝						決勝
	100m 200m		1500m		3000m		全種目
トラック	400m 800m						
	100mH 110mH						
	4×100mR						
グループ	組	招集完了時刻	組	招集完了時刻	組	招集完了時刻	招集完了時刻
	1～3	20分前	1～2	20分前	1	20分前	20分前
	4～6	5分前	3～4	5分前	2	5分前	
	7～9	10分後	5～6	10分後	3	10分後	
	10～12	25分後			4	25分後	
					5	40分後	
フィールド	種目			招集完了時刻			
	走高跳・走幅跳			40分前			
	砲丸投			40分前			
	棒高跳			100分前			
四種	トラック種目 フィールド種目			上記該当種目と同様の招集完了時刻			

(3) 招集の手順

- ① 競技者は招集完了時刻5分前までに招集所に集合し、点呼を受けること。その際、競技役員にナンバーカードとスパイク、衣類及び競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けた後、競技役員の誘導に従って入場すること。(携帯電話や通信機器および音楽再生機器等は持ち込めない)
- ② 代理人による招集の確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が該当の招集開始時刻までに、所定の用紙に記入し、競技者係に提出すること。なお、用紙は招集所に用意する。
- ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ④ 四種競技者は、最初の種目のみ招集所で(3)の①に従い競技者係の点呼を受けるが、以後の2番目の種目からは、四種競技者招集所(第3ゲート外側テント)で混成競技係の点呼のみを受けること。なお、フィールド種目は、競技開始時刻の40分前まで、トラック競技は、競技開始時刻の20分前までに集合すること。
- (4) 競技への出場をやむを得ず棄権する場合は、招集完了時刻10分前までに競技者の所属する各中学校の監督がその旨を所定の用紙に記入し、競技者係に提出すること。なお、用紙は招集所に用意する。
- (5) 2種目を同時に出場する競技者は、当該競技審判主任の判断により、フィールド競技について試技順を変更することができる。

4 競技運営について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) 予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、主催者が公平に抽選し、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の準決勝以降とフィールド競技の決勝については、主催者が公平に抽選し、その結果を番組編成掲示板に掲示する。
- (3) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンはあける。
- (4) 計時方法は写真判定(1/100秒)とする。
- (5) タイムにより、次のラウンドの出場者を決めるときに同記録者があるときは、写真判定主任が同記録者の写真を拡大(0.002秒以上の差が認められた場合)して進出者を決める。それでも決められないときは同記録者本人あるいはその代理人が抽選を行う。(競技規則167条を適用)
- (6) リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出すること。メンバー変更については、競技規則170条17の項を適用する。なお、用紙は招集所で用意する。
- (7) リレー競技においては、同一ユニフォームを着用する。
- (8) リレー競技のマーカの使用は1ヶ所とする。(競技規則第170条11の項を適用) また、マーカは主催者側が用意し、審判員が配布する。ただし、使用したマーカはそのチームで処理すること。
- (9) 短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (10) 男子3000mは予選・決勝ともグループスタートとする。また、第2グループのスタートラインから10mは代用縁石を設置しない。
- (11) トラック競技の全種目については、スタート地点で脱いだ衣類などは指定された入れものに入れること。なお、衣類などはフィニッシュ地点に係員が運搬する。(フィニッシュ地点がスタート地点の競技者やリレー競技の第1、第2、第3走者を除く。)
- (12) フィールド競技の予選については、2ピットで行う(日程及び会場図参照)。また競技場の条件、出場人数によっては、1ピットで行う場合もある。
- (13) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は競技役員の指示によって行うこと。
- (14) 競技者に対する助力については、競技規則第144条2の項を適用する。
- (15) 抗議は、競技規則第146条に従って定められた時間内に各都道府県の代表監督を通じて口頭で審判長(抗議担当総務員)に申し出ること。さらに、この裁定に不服の場合は、預託金(1万円)を添え、抗議担当総務員を通じて上訴審判員に文書で申し出る。なお、上訴審判員の裁定が最終決定となる。
※正式発表は、アナウンスの時刻とする。

5 競技場の入退場について

- (1) 入場はすべて競技役員の誘導による。
- (2) 走り終わった者は第1ゲートミックスゾーンより退場すること。ただし、リレー走者は競技役員の指示に従って決められたゲートより退場すること。
- (3) フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場すること。

6 ナンバーカードについて

- (1) 男子は白地に黒文字、女子は白地に赤文字とする。腰ナンバー標識は白地に黒文字とする。
- (2) ナンバーカードは一人2枚配布する。ナンバーカードは配布されたままの大きさをユニフォームの胸背部に確実につける。なお、跳躍種目の競技者は、背部または胸部のみでもよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識(シール)2枚をランニングパンツ左右の上部やや後方につけること。(招集時に受け取り、終了後は各自で処理すること。)

7 予選通過標準記録について

フィールド競技の予選通過標準記録は次のとおりとする。

	走高跳	棒高跳	走幅跳	砲丸投
男子	1 m 9 0	4 m 3 0	6 m 7 5	1 4 m 1 5
女子	1 m 6 3		5 m 6 0	1 3 m 8 0

上記の種目で予選通過標準記録を超えた者が12名に満たなかった場合、決勝進出者は予選成績により追加補充される。同記録の競技者は、競技規則第180条19、第181条8を適用する。なお、予選通過標準記録は、天候その他特別な状況が生じた場合に限り、当該審判長の判断により変更されることがある。

8 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

(1) 予選

種目	練習	競技
男子 走高跳	1 m 8 1	1 m 8 4 - 1 m 8 7 - 1 m 9 0
女子 走高跳	1 m 5 4	1 m 5 7 - 1 m 6 0 - 1 m 6 3
男子 棒高跳	4 m 0 0	4 m 1 0 - 4 m 2 0 - 4 m 3 0

(2) 決勝

種目	練習	競技
男子 走高跳	1 m 8 4	1 m 8 7 - 1 m 9 0 (以降3cm刻みとする)
女子 走高跳	1 m 5 7	1 m 6 0 - 1 m 6 3 (以降3cm刻みとする)
男子 棒高跳	4 m 0 0 4 m 3 0	4 m 1 0 - 4 m 2 0 - 4 m 3 0 - 4 m 3 5 (以降5cm刻みとする)
男子四種走高跳	1 m 5 1 1 m 6 0	1 m 5 4 - 1 m 5 7 (以降3cm刻みとする) 1 m 6 3 - 1 m 6 6 (以降3cm刻みとする)
女子四種走高跳	1 m 2 7 1 m 4 2	1 m 3 0 - 1 m 3 3 (以降3cm刻みとする) 1 m 4 5 - 1 m 4 8 (以降3cm刻みとする)

- ① 走高跳・棒高跳は、最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。ただし、競技規則第181条4の(b)の場合は除く。
- ② 第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmきざみとする。
- ③ 棒高跳の支柱移動申請書は、招集完了時刻までに競技者係に提出する。なお、用紙は招集所に用意する。
- ④ 棒高跳と四種競技の走高跳は、練習の高さを2段階に設定し、希望により実施できるものとする。

9 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有のものを使用することができる。

10 表彰について

- (1) 各種目の表彰は決勝終了後インタビューを経て行うので、8位までの入賞者は競技役員への指示に従い、表彰控席で待機すること。
- (2) 各種目の第1位から第3位までに賞状とメダルを、第4位から第8位までに賞状を授与する。
- (3) 優秀競技者(男子1名・女子1名)に文部科学大臣賞を授与する。
- (4) 四種競技優勝者(男子1名・女子1名)にウィッシュマン賞を授与する。
- (5) リレー優勝校には、(2)に加え優勝杯を授与する。優勝杯は持ち回りとする。
- (6) 上記(4)(5)については、各競技終了後の種目表彰の中で、(3)については第3日目終了後の閉会式の中で行う。

11 商標について

- (1) 競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守る事。

- ① 上半身の衣類…製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積30cm²以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体で縦5cm以内とする。製造会社の表示は1ヶ所のみとする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は40cm²以内とする。

- ②下半身の衣類…製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積20cm²以内の長方形、文字は縦4cm以内のものを1ヶ所とする。
 - ③バッグ …製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は25cm²以内のものとする。
 - ④上記に違反した者については、主催者で「商標隠テープ」を貼り処置する。
- (2) 競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

12 閉会式について

8月22日(水)競技終了後16時30分から引き続き行うので、競技場内の各ブロックプラカードの後方に整列する。なお、雨天の場合は、武道館にて行う。

13 その他

- (1) 速報記録について
速報記録は、記録掲示板に掲示し、モバイル端末、携帯電話、スマートフォンなどでも紹介する。
- (2) 棒高跳のポール返送(有料)は、棒高跳の競技終了後、宅配業者がポール返送の受付をする。(宅配業者ブーステント)
- (3) 応援について
 - ①集団応援は他の競技の支障のないようにすること。
 - ②メイン・サイドスタンドでの集団応援は禁止する。
 - ③競技の妨げとなるような応援は禁止する。
- (4) 陸上競技場スタンド裏1、2階通路は全面シート設置を禁止とする。(緊急時の避難通路のため)
- (5) ゴミは各自持ち帰りを原則とする。
- (6) 提出書類及び記録証明書等は次のとおりである。

	提出書類	提出場所	提出時刻
①	棄権届	競技者招集所	招集完了の10分前まで
②	2種目同時出場届	同上	第1種目の招集完了時刻10分前まで
③	リレーオーダー用紙	同上	第1組の招集完了時刻60分前まで
④	リレーオーダー変更届	同上	招集完了時刻まで
⑤	棒高跳支柱移動申請用紙	同上	招集完了時刻まで
⑥	四種競技走高跳ピット変更申請書	同上	女子は第1種目招集完了時刻まで 男子は砲丸投終了時から16:30まで
⑦	上訴申立書	本部 担当総務員 (預託金1万円)	正式結果の発表後、予選・準決勝は15分以内、決勝は30分以内まで
⑧	記録証明書交付願	記録証発行受付 (交付料500円)	記録発表後から、全競技終了15分まで
⑨	成績記録集申込書	記録証発行受付 (交付料1,000円送料含)	全競技開始時刻から、全競技終了後15分まで(後日大会本部より送付)